

先輩に続け-----

産総研とは？

産業技術総合研究所（産総研）は日本の公的研究機関の一つであり、特に日本の産業分野の発展を目的とした国立の研究所です。幅広い日本の産業を網羅するため、様々な分野の約2300名の研究者が在籍しており、全国12か所に研究拠点（本部・つくば）が整備されています。地域ごとに異なる様々な課題に対して各拠点が対応することに加え、全国の産総研のネットワークも用いて課題解決を行っています。セラミックス関

も取り組む国内最大級の公的研究機関になります。

どんな仕事？

私自身は、2010年度に徳島大学博士後期課程を修了し、3年ほど海外留学を行った後、2014年に産総研に入所しました。産総研では中部センター（愛知県名古屋市）に勤務しており、主に、東海地域の主要な産業であるセラミックスに関連した研究開発を行っています。セラミックス関

連企業が抱える課題について、関連企業との共同研究を通じて課題の解決に取り組んだり、セラミックス産業が抱える共通の社会課題に対しても、関連企業や大学と国際会議に参加して、社会課題の解決に取り組んだりしています。また、課題解決にはこれまで得た知見や知識に加えて、新規の技術シーズが求められることが多く、競争的研究資金等を獲得して独自の新規技術シーズの開発も並行して行っています。困った

時には、徳島大学の先生方に助言をして、楽しいください。

メッセージ

自分の大学生活を振り返ってみれば、無茶もしましたが、さまざまな経験ができた充実した期間でした。“学問なき経験は経験なき学間に勝る”（イギリスの諺）と先人が言うように、大学時代に学んだことに加えて、いろいろと経験したことが自分の糧になつたと思っています。容易く情報が手にはいる昨今ですが、時間をかけて体験すると自分にしか見えないことが見つかることがあります。いろいろな経験を通じて大学生生活を



嶋村 彰紘さん（しまむら あきひろ）

所属：産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門
略歴：2011年3月 大学院先端技術科学教育部環境創生工学専攻
博士後期課程修了

をいただくこともあります。社会人になつてからもいろいろと助けていただいています。

あまり知られていませんが、公的研究機関でも職員が外部の機関に出向することが多く、産総研の場合も、他の公的研究機関や省庁に出向する機会があります。私も1年間、省庁に出向し、愛知を離れて東京で暮らしていました。出向先では行政の視点から産業分野を俯瞰的に見て、政府として必要な政策の立案に携わっていました。